

縄文の女神と若鮎の里
Funagata



9月9・10日 第40回ふながた若鮎まつり（アユパーク）

特集

発掘！ふながたのお宝
豊かな自然が育む「米」

SEP 2023
VOL.775

9

Public Relations Funagata

たくさんのみなさんの協力のもと 第40回ふながた若鮎まつり開催



9月9・10日、アユパークを会場に第40回ふながた若鮎まつりが4年ぶりに通常開催されました。9日は約8,000人、10日には約14,000人の来場があり、にぎわいました。

ステージエリアでは舟形小学校の若鮎太鼓やほほえみ保育園のほほえみ子宝太鼓、各種団体の発表のほか、9日にはゲストの工藤あやのさん、10日には神野美伽さんによる歌謡ショーなども行われ、大いに盛り上がりました。

子どもエリアではみ南部商工会青年部による子ども鮎つかみどり体験が開催され、多くの子どもたちが歓声を上げて鮎を追いかけました。

また、飲食出店ブースには町内からはもとより、友好都市物産交流として宮城県石巻市、静岡県川根町からの出店がありました。約20,000尾の鮎の塩焼きをはじめ、鮎ご飯や芋煮、汁なし油そばやバケットサンドなど、おいしいものが勢ぞろいし、来場者もてなしました。

町が誇る様々な魅力が集結したふながた若鮎まつり。残暑が厳しいなかでも、来場者のみなさんは存分に堪能された様子で、笑顔があふれるまつりとなりました。

▼問い合わせ先
舟形町まちづくり課交流促進係
☎(32)0844

contents

- P3 第40回ふながた若鮎まつり
- P4 港区との交流の絆、50周年
- P5 令和6年度舟形ほほえみ保育園園児募集
- P6 新しい県立新庄病院を紹介します（最上8市町村「共同広報企画」）
- P8 つながり、支え合うまち
- P10 特集 発掘！ふながたのお宝
- P12 ふなトビ
- P14 まちかど掲示板
- P15 地域おこし協力隊コラム「舟形見聞録」
- P16 新刊書の紹介、舟形文芸ひろば
- P17 二十四節気 舟形の暮らし、舟形まんぶく物語、カメラアングル
- P18 令和5年秋以降の新型コロナワクチン接種のお知らせ



表紙の紹介

9月9・10日、アユパークで4年ぶりの通常開催となる第40回ふながた若鮎まつりが行われました。

4年ぶりの若鮎まつり

モロッコ地震とリビア洪水で、亡くなられた方々にお悔やみと、被災された方々にお見舞いを申し上げます。

8月27日に、舟形中学校の生徒と町新採職員などによる、「鮎釣り体験教室」を開催しました。これは、都会ではできない「舟形暮らし」の楽しみを知ってもらい、子どもたちの定住を増やせればと企画したものです。なかには3匹も釣った子どももいて、一様に楽しかったと喜んでくれました。子どもたちに指導していただいた、舟形フィッシングクラブ、フィッシンググチャつか屋、小国川漁業協同組合のみなさんのご協力に感謝申し上げます。

また、9月9・10日に第40

回ふながた若鮎まつりを開催

しました。新型コロナ感染症の蔓延で4年ぶりの開催となりましたが、天候に恵まれて2日間で22,000人の来場者がありました。これはコロナ前より2,000人も多く、みなさんが若鮎まつりを楽しみにしていたことがよくわかりました。ゲストの工藤あやのさんや神野美伽さんは、本当に暑い中、着物姿で汗びっしょりになりながら、歌を披露していただき、来場者はたいへん喜んでおられました。

来年もコロナなどの感染症や災害等が起これば、天候に恵まれた若鮎まつりが開催できませんように心から願います。

森 富広





令和6年度

舟形ほほえみ保育園 園児募集

令和6年4月より、舟形ほほえみ保育園に新たに入所を希望される方は申込みください。
なお、現在入所されている児童で、引き続き保育園を利用される方は申込みの必要はありません。

▼申込み期間・方法／舟形町健康福祉課へ直接提出（郵送不可）

10月16日（月）～11月17日（金）

▼申請方法／申請書類の配布は、舟形町健康福祉課窓口で令和5年10月2日（月）より開始します。町ホームページでもダウンロードできます。
※ぴったりサービスからも申請できます。

▼対象／令和6年4月1日に舟形町に住所を有し、保護者等が仕事や病気のため、家庭で保育できないと認められる生後6ヵ月経過した子どもから就学前までの子どもで保育を必要とする方。

▼認定申請／保育所等利用申込書とあわせて保育の必要性にかかる「支給認定申請書」を提出し、支給認定（2・3号認定）を受ける必要があります。支給認定を受けるには、保育を必要とする事由に該当していることが必要です。
※未満児（0、1、2歳児）については利用定員に限りがあり、定員を超えた場合は、選考審査となります。ご了承ください。

▼申込みに必要な書類／

- ①保育所等利用申込書 ②支給認定申請書
- ③保育の必要性を証明する書類（保護者および同居する家族全員分）



【詳細はこちら】



【ぴったりサービスについて】

<舟形町のびのび子育てサポート給付金事業>

町では、子育て支援を町の重点課題の一つとして、子育て中の家族を支援する事業を展開しています。

▼対象者・助成額／

- ・0～2歳児
 - ①保育料階層が3、4-1、4-2の方の保育料を全額助成
 - ②保育料階層が5の方の保育料を、第1子から半額助成、兄弟姉妹がいる場合は18歳以下の兄弟姉妹から数えて第2子以降は全額助成
 - ③保育料階層が6、7の方の保育料を18歳以下の兄弟姉妹から数えて2子目半額助成、3子目以降全額助成
 - ④近隣市町村の幼稚園や保育園に入園しており、市町村税所得割の額が97,000円未満の世帯の場合、全額助成（該当する可能性のある方は、問い合わせください）
- ・3～5歳児の給食費無料

▼保育料／通常保育料（月額）は次のとおりです。

区分	保護者等の市町村民税額等	3歳未満児の場合		3歳以上児の場合	
		保育標準時間	保育短時間	保育標準時間	保育短時間
1	生活保護世帯等	0円	0円	0円	0円
2	町民税非課税世帯	0円	0円	0円	0円
3	町民税の均等割額課税世帯	16,000円 (5,800円)	15,700円 (5,800円)	0円	0円
4-1	1円以上77,100円以下	25,600円 (5,800円)	25,100円 (5,800円)	0円	0円
4-2	77,101円以上97,000円以下	25,600円	25,100円	0円	0円
5	97,001円以上169,000円以下	34,000円	33,400円	0円	0円
6	169,001円以上301,000円以下	48,000円	47,100円	0円	0円
7	301,001円以上	52,000円	51,100円	0円	0円

▼支給の流れ／いったん全額を納めてもらい、翌月助成金を支給します。

- ①当月分の保育料を納付（毎月25日振替）※25日が土・日・祝日の場合、翌日。
- ②納付確認（毎月10日ごろまで確認）
- ③翌月の末日に支給 ※末日が土・日・祝日の場合、前日に支給。

▼申込み・問い合わせ／舟形町健康福祉課福祉係 ☎(32) 0655



港区との交流の絆、50周年

港区と舟形町との災害時相互協力協定

港

区と舟形町は災害が発生した場合において協力しながら、応急対策および復旧対策を迅速かつ円滑に遂行するため、8月17日、港区役所において、災害時相互協力協定を締結しました。「食料、飲料水、および生活必需品の提供」、「職員等人材の派遣」、「避難者の受入れ」など、7項目について相互協力するものです。



協定を締結した森富広町長と武井雅昭区長

舟

形町と港区の交流は今年で50年を迎えます。そのきっかけは、本町出身の故佐藤克己氏（最上電気㈱初代会長 港区東麻布）が、ふるさとを知らない東京の子どもたちに舟形町の良さを知ってもらいたいとの思いから始まった旧飯倉小学校との児童交流でした。時は流れ、飯倉小学校は閉校しましたが、その思いは舟形町はもちろんのこと、東麻布商店会、東麻布まちづくり協議会、麻布地区総合支所はじめ多くの方に引き継がれています。

また、平成19年には都市直下型地震などの災害への備えとして、東麻布まちづくり協議会と舟形町による「震災避難協定」が締結されています。



最上小国川で川遊びをするサマースクールの参加者

港区と舟形町の交流の歴史

主な交流の歴史を紹介します。また、QRコードから動画、「東京都港区・山形県舟形町」交流の歴史と未来への架け橋」をご覧ください。



- 昭和48年 舟形町に港区立飯倉小学校の5・6年生32名が来町
- 昭和49年 飯倉小学校と町内小学校との児童交流が始まる。
- 昭和61年 東麻布商店会主催のかかしまつりに参加
- 平成15年 飯倉小学校の閉校（平成16年3月31日）に伴い、児童交流が終了。
- 平成17年 東麻布まちづくり協議会の主催で旧飯倉小学校区域と「山形自然体験サマースクール」が始まる。
- 平成19年 東麻布まちづくり協議会と舟形町による「震災避難協定」の締結
- 平成20年 港区・舟形町・東麻布商店会・舟形町商工会（現もがみ南部商工会）による「商店街友好都市との交流に関する基本協定書」を締結
- 平成21年 「商店街と地方都市との交流物産展」へ参加
※現在の「全国交流物産展in新橋」
- 平成27年 「麻布地区サマースクールin舟形」が開始
（港区麻布地区総合支所主催）
- 令和4年 港区麻布地区総合支所より舟形町に感謝状の贈呈

ご挨拶

山形県立新庄病院は、最上地域における基幹病院として、地域みなさまに「安心・安全・信頼」の医療を提供してまいりました。この度、最上地域の市町村ならびに関係団体のご尽力、そして何より地域みなさまのご支援により、移転改築の運びとなりました。あらためて御礼申し上げます。新病院においては、地域救命救急センターを整備するとともに、新庄市夜間休日診療所の機能を移転するなど、救急医療の一層の充実を図っております。また、総合患者サポートセンターを設置し、最上地域市町村や保健所と連携して入院から退院、在宅までの暮らしへのサポートも強化します。これからも、みなさまが愛するこの地域で安心して暮らしていけるように、良質な医療の提供に努めてまいりますので、引き続きご支援くださいますようお願いいたします。



山形県立新庄病院
院長 八戸 茂美 さん

院内の様子を先行公開



▲⑥外来ストリートの様子。外来診療は全て1階になり、受付は診療科毎にAからEまでわかれています。



▲③総合患者サポートセンターの様子。入院手続きや各種相談の他、面会受付なども行います。



▲②総合受付の様子。正面から入るとすぐに総合受付があります。再来受付機は左側です。



▲①正面出入口の様子。正面出入口のご利用は平日午前7時30分から午後5時まで。その他の時間は⑤の夜間休日出入口を利用ください。



▲④患者図書室とカフェの様子。一般の方も利用できます。

今号では、県立新庄病院の協力のもと、最上8市町村の広報担当が共同で取材を行い、新・県立新庄病院の記事を作成し、公開しました。



新庄・最上地域の医療の中核を担い、人々の生活を支える県立新庄病院。新病院は10月1日(日)に開院し、10月4日(水)から外来診療を開始します。開院前の新しい県立新庄病院について紹介します。

最上8市町村「共同広報企画」
10月4日(水)、外来診療開始
新しい県立新庄病院を
紹介します

- 新病院の重点機能**
- ①救急医療
最上地域で初めて、ヘリポートを備えた「地域救命救急センター」(10床)を設置し、高度な救急医療を提供します。
 - ②生活習慣病への対応
専門の医師を配置し、がんや糖尿病などの生活習慣病への対応を強化します。
 - ③小児・周産期医療
最上地域唯一の分娩取扱い機関として、小児・周産期医療を提供します。
 - ④総合患者サポートセンター
入院手続き、退院後の療養環境、介護・福祉サービスの利用など、一連の相談に対応するほか、医療や健康に関する情報を発信します。
 - ⑤災害医療・感染症対応
大規模災害や新型コロナウイルスなどの感染症への対応を強化します。

新病院の理念
「仁」「愛」「和」の心をもって、地域住民に信頼と安心を与える医療を提供し、最上二次保健医療圏唯一の中核病院としての使命を果たします。

デマンド型乗合タクシーを利用できます

デマンド型乗合タクシーの新・県立新庄病院便は、10月2日から運行を開始します。

町外便(松橋・上長沢方面⇄県立新庄病院)時刻表

大折・大平地区	松橋・長沢方面	舟形駅	新・県立新庄病院
		7:45発着	
		土・日・祝日、12/29~1/3は運休	
		11:50発着	13:30発着
		15:45発着	

- ▼運賃／片道500円(1人)
- ▼予約／乗車日の1週間前～前日の午後5時
- ▼予約先／(有)星川タクシー ☎(32) 2010
- ▼問い合わせ／舟形町まちづくり課地域支援係 ☎(32) 0104

[新設予定]		[現病院]	
腎臓内科	糖尿病・内分泌内科	消化器内科	循環器内科
緩和ケア内科	精神科・心療内科	血液内科	腫瘍内科
歯科	リハビリテーション科	小児科	形成外科
		整形外科	泌尿器科
		皮膚科	形成外科
		産婦人科	形成外科
		放射線科	泌尿器科
		麻酔科	耳鼻咽喉科
		救急科	救急科

設備概要
平面駐車場約850台(うち身体障がい者等用の屋根付駐車場は20台)、駐輪場などを整備し、多くの来院に備えています。

病床数
地域救命救急センター10床を含む325床を設置し、地域医療を支えます。

今後のスケジュール	内容
9月29日(金)	現病院・外来最終日
10月1日(日)	開院
10月2日(月)	外来診療休止
10月3日(火)	外来診療開始
10月4日(水)	外来診療開始

つながり、支え合うまち

持続可能な地域づくりに向けた話し合い

住民主体の地域づくり事業とは

以前より協働のまちづくりを目指し、町内会と行政が連携し地域づくりを行なってきましたが、人口減少や少子高齢化などの影響により、近年地域の課題やニーズが多様化・複雑化してきていて、従前のおりでは課題への対応が難しい場合が増えてきました。そこで、一人ひとりの困りごとから地域の課題と解決に向けた取組みを「町内会びじょん」としてまとめ、住民のみなさんと行政が一緒になって地域づくりをすすめてきました。

今年度は、平成30年度に各町内会のワークショップで作成した5カ年の計画である「町内会びじょん」の最終年度です。



5年前(平成30年)のワークショップの様子

この数年間は新型コロナウイルス感染症の影響により人が集まれないという状況が続き、地域活動も大きく変化しました。それに伴い、地域の課題も変化しているかもしれません。あらためて5年間の振り返りと次期のびじょんの検討のため、各町内会においてワークショップを開催します。

ぜひ参加して、自分が住む地域について話してみませんか。

町内会ワークショップに参加しましょう。

ワークショップは、参加者全員が同じ立場で一緒に考え、自由に意見を出し合うことができる話し合いの場であり、誰でも参加することができます。また、町職員も参加し進行などのサポートを行います。日ごろから生活の中で課題だと思っていることや気付いたこと、これからの地域に必要なことなどを、年齢や性別、役職など関係なく話すことができる機会です。



9月14日の町内会長研修会の様子

9月14日、町内会長研修が中央公民館で行われ、各町内会から63名が参加しました。町内会ワークショップの開催に向け、より多くの住民の方が参加するための工夫などについて意見交換を行いました。参加者からは「ワークショップは思ったよりも話しやすい雰囲気、意見が出しやすかった」「若者や女性が参加しやすいような工夫をしていきたい」など、積極的な地域づくりへの意気込みが多く聞かれました。

町内会びじょんをもとにした地域づくりを紹介します 舟形第3町内会びじょん「支え合いで安心の毎日」

舟形第3町内会では、住民全体の様々な世代が集まり話し合った課題をもとにびじょんを作成し、さらに達成の評価を行えるよう、独自に「びじょんの3つの柱」を作り、取組んできました。

舟形第3町内会びじょんの3つの柱

- 1 日頃のお付き合いを大事にする
- 2 安全・安心で気持ちいい毎日となるよう、防災・環境保全活動を充実する
- 3 みんなで仕事を分担し、みんなが支え合う町内会をつくる



舟形第3町内会長 星川基さんに聞きました

この3つの柱を支える活動を一部紹介します。



1 隣組交流会の様子

- 1 隣組でお茶会などの集まりを開いてもらい、町内会から参加者一人500円を補助しています。
- 2 浸水想定区域の避難訓練、高齢者マイタイムラインづくり、想定浸水深標識を設置(令和4年度)しました。
- 3 町内一斉美化活動、草刈り隊、除雪サービスなどを実施しました。一人でも多くの人が集まり協力し合い、環境美化や困りごとの解決を目指しています。



3 除雪サービスの様子(舟形町高齢者世帯等除雪サービス事業)

町内会びじょんとは？

町内会びじょんは、アンケートやワークショップなどをとおして、地域のみなさんが話し合ったことをまとめたものです。話したことを可視化し各地区の公民館など、みなさんが見ることができる場所に掲示することで、いつでも確認することができるようにしています。

長尾町内会びじょん

期間：2019年4月1日～2024年3月31日

○町内会の課題(困りごと)

高齢化 町内会事業への参加者減	雪道の安全 運転要注意箇所(国道と町道)	危険箇所 大雨時の山洪水時の川
--------------------	-------------------------	--------------------

○地域の目標(こんな地域にしたい)

1. みんなで協力・支え合い、住みよく楽しく安全な集落
2. 文化財と自然、誇れるものをいつまでも残そう

○私たちができること(活動)

町内会活動 ・みんなが進んで参加 ・花いっぱいゴミがない ・百歳体操の継続	近所の見守り ・子育ての応援 ・お年寄りの見守り	安心・安全 ・危険箇所の把握と防災 ・雪の困りごと相談
--	--------------------------------	-----------------------------------

町内会びじょん策定のメリット

- ・自分たちの取組みを自分たちで決める
- ・課題の把握・整理ができる
- ・課題の優先の順位をつけられる
- ・次世代に思いを形にして残せる
- ・役員が交代しても活動が継続できるなど

町内会びじょんの例

生産者の声

<富長地区>

加藤 陽介さん（富田第2）

おいしい米を安定的につくるためには、農業者の担い手の確保が必要だと考えます。私も富長地区の担い手の一人として、これからは水田面積などの拡大をし、農業の魅力を若い世代に伝えていきたいです。そのようなことから、町でも支援している東北農林専門職大学の隣地実務実習としても協力していく予定です。



▼地区の作付面積／379.77ha
▼認定農業者数／53名

<長沢地区>

叶内 公直さん（長沢第2）

おいしい米をつくるために稲の生育管理に衛星データを利用しています。この取組みは全国的にも珍しいもので、PRなど情報発信に力を入れる必要があると思います。労働生産費の削減や、品質の均一化や品質向上・収量増加に結びつく取組みなので、どんどん利用が増えていくと嬉しいですね。



▼地区の作付面積／181.62ha
▼認定農業者数／16名

<堀内地区>

加藤 嘉久さん（堀内）

堀内地区は、中山間地域で条件不利地が多く、さらに担い手の減少が急速に進むなどしていますが、舟形町のおいしい米を生産する重要な農地です。このような中で、米と合わせてそばなどの作物を栽培することや農業の法人化などにより、地域の農業者と力をあわせ、持続可能な農業を目指していきたいです。



▼地区の作付面積／96.88ha
▼認定農業者数／14名

<舟形地区>

渡辺 忠洋さん（紫山）

米とともにトマトなどの園芸作物も栽培しながら安定的な経営を目指しています。これから収穫の最盛期を迎えますが、たくさんの方に舟形のおいしい米を食べてほしいです。米は機械経費が多くを占めるので、国などの補助事業を活用しながら、おいしい米をつくる体制を整えていきます。また、若手農業者として地域の農業を支えていきたいです。



▼地区の作付面積／231.60ha
▼認定農業者数／21名



稲刈り（富田字富田）

ふながたの「お宝」。舟形町のもの、人、場所などをシリーズで紹介します。第6弾は「米」です。

発掘！
ふながたのお宝

豊かな自然が育む「米」

舟形町の米づくり

舟形町は四季の変化が鮮やかで、冬に降る雪は山間部にたくわえられ、やがて豊かな湧き水となって水田に注ぎます。肥沃な土壌に加え、年間・昼夜の温度差が大きいことから、稲作には最適な条件を備えた土地だといえます。町全体の水稲作付面積は89.87ha（令和5年9月現在）で町の農業の基幹作物です。現在、「はえぬき」を主力とし、つや姫・ひとめぼれ・コシヒカリ・雪若丸などを生産しています。

舟形産「はえぬき」

町全体の水稲作付面積のうち545.39haと6割以上を占めるのが「はえぬき」です。収量・品質が安定していることから、舟形町の主力品種でもあります。

主食用品種(うるち米)の作付面積 (令和5年9月現在)	
1位 はえぬき	545.39ha
2位 つや姫	85.76ha
3位 コシヒカリ	38.62ha

また、町内の生産者には最上地区食味コンテストなど、おいしい米の審査会などで受賞した方もいて、こだわりの米が生産されています。



最上小国川と圃場（舟形字道袋）

ふるさと納税への返礼

舟形産の米はふるさと納税の返礼品としても多くの方に喜ばれています。レビューを見ると、親戚や友人へのプレゼントとして選ぶ方や、リピーターとなって生産者を応援してくださる方など、たくさんの方々に愛されていると感じます。また、新鮮なお米を素早くお届けすることも常に心がけています。



（株）大場惣吉商店
代表取締役
大場 宗一さん

大場惣吉商店代表取締役 にインタビュー

舟形町の水田は、豊かな自然環境の恩恵を受けながら、代々大切に守られ、受け継がれてきました。後継者不足などの課題がある中でも、現在も米をつくり続ける生産者のみなさんがいるからこそ、おいしい舟形の米が生まれます。

舟形本町地区地域づくり協議会合同防災訓練

9月3日、舟形本町地区地域づくり協議会合同防災訓練が開催されました。大地震を想定した防災訓練で、情報収集・伝達訓練や安否確認および避難誘導訓練を行いました。

舟形本町地区地域づくり協議会（会長 沼澤靖浩さん【舟形第4町内会長】）は、舟形第1・3・4町内会で構成されていて、伝統行事の継承や各町内会が抱える課題の解決に向け、連携して話し合いや取り組みを行なっている組織です。



町内から中央公民館への避難



プライベート TENT 設置の実演

実践的な訓練として、協議会と町職員合同での避難所開設・運営訓練を実施し、避難所での役割や物品、手順などを確認しました。また、実際にプライベート TENT を設置するなどの実演も行いました。

訓練後の講評の中で鏡副町長は、「災害への備えとして訓練こそが最大の防御策です」と話し、各自の防災意識を高めるとともに、互助の行動を確認できる機会となりました。

鮎釣り体験講座



8月27日、一の関大橋河川敷で、舟形中学校の生徒と町職員を対象に鮎釣り体験講座が開催されました。この講座は、鮎釣りをとおして郷土愛の醸成と文化の継承を図ることを目的とし、町と最上小国川清流未来振興機構の共催、また小国川漁業協同組合、フィッシンググチャツカ屋、櫛がまかつの協賛を得て開催されました。参加した浅沼恵太さん（舟形中3年）は「川での釣りは気持ち良い。鮎を釣ることができて楽しかった」とうれしそうに話していました。

県知事・県教育委員会教育長表彰

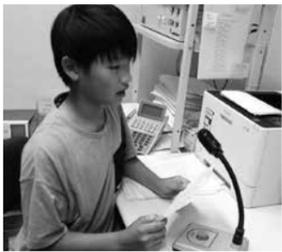
舟形町教育委員の木島広人さん（洲崎）が、令和5年度山形県知事・山形県教育委員会教育長表彰を受賞されました。

木島さんは町教育委員として10年の長きにわたり、町教育行政の発展に大きく貢献されました。



セーブメディア週間

8月28日～9月3日、のセーブメディア運動期間にあわせ、高橋遥真さん（舟形小6年）が防災無線で呼びかけました。「この期間にメディアと接する時間を減らし、1分でも長く学習にあてたい」と意気込みを話していました。



災害時における飲料水の提供に関する協定締結式



8月21日、町と榎小野商會ウォーターネット山形月山で災害時における飲料水の提供に関する協定締結式が行われ、同社の庄司幸雄代表取締役社長と町長が協定書に署名しました。大規模災害が発生した際、町の要請に応じてウォーターサーバー10台と飲料水ポトル12リットル入り100本を無償で提供されます。災害時の避難所や被災者への飲料水の提供は、必要不可欠なもので、これからも町民の安全・安心のための備えを進めていきます。

佐藤キクエさん 長寿褒章



9月14日、今年数えて100歳を迎えられた佐藤キクエさん（太折）へ、町から長寿のお祝いが贈られました。

佐藤さんは現在ホームヘルパーを利用しながら、自宅で家族と一緒に暮らしされており、好き嫌いなくなんでも食べられ、健康状態は良好とのことでした。

この制度は、長寿を祝福するため数え100歳になった町におおむね50年以上住んでいる方にお祝い金と賀詞を贈るものです。ますますのご長寿をお祈りします。

シルバー人材センター 地域貢献活動



9月9日、（公社）新庄最上地域シルバー人材センター班長の阿部孝行さん（西堀）を中心とした舟形班の12名のみなさんより、地域貢献活動として老人いこいの家「清流荘」の草刈りを行なっていたいただきました。このボランティア作業は、毎年行なっていたいただいています。

障がい者差別解消等に係る理解を深めるための研修会



8月22日、町職員約30名が福井県立大学教授の佐野治氏による研修会に参加しました。この研修は共生社会の実現に向けた取り組みを行う上で、不当な差別的取扱いの禁止や、合理的配慮の提供など、障がいを持つ方への理解をより深めることを目的に開催されました。

佐藤真智子氏（長尾） 県防犯協会連合会会長 県警察本部長表彰



多年にわたり地域安全活動に尽力し安心なまちづくりに貢献された功績に対し表彰されました。

奉納さばね山相撲大会



8月24日、猿羽根山相撲場でさばね山相撲大会が行われ、舟形小学校の5・6年生が参加しました。

ほほえみ保育園に 日本赤十字銀色有功章



ほほえみ保育園は日本赤十字に15年間加盟し、資源回収や自然体験などの活動を行なってきました。

まちかど掲示板

まちの話題、疑問、質問、提言、意見のほか、会員募集やイラストなど何でも結構です。広報紙上でできるだけ紹介します。

まちづくり課 企画調整係

☎(32)0104

✉kikakupr@town.funagata.yamagata.jp



【問い合わせQR】



躍動！チーム舟中！！

○8月9日に実施された東北大会の結果は次のとおりです。

競技	種目	名前	結果
陸上	女子砲丸投げ	丹京音	第13位
柔道	女子個人	平賀桃花	1回戦敗退

○7月23・24日に実施された県中総体の結果は次のとおりです。

競技	種目	名前	結果
ソフトテニス	男子個人	斎藤榛人	ベスト16
	男子個人	早坂颯真	ベスト16
陸上	女子共通砲丸投げ	丹京音	第1位
	男子共通400m	加藤登生	予選3組第3位
	1年男子1500m	柴田侍我	第17位
	女子共通200m	加藤日胡	予選2組第8位
柔道	男子個人	長濱良太	1回戦敗退
	女子個人	平賀桃花	第2位
水泳	女子50m自由形	八鍬美穂	第11位
	女子100m自由形	八鍬美穂	第12位
剣道	女子個人	飯野倅	1回戦敗退

奉納さばね山相撲大会・舟形小学校相撲大会結果

○8月24日に行われた奉納さばね山相撲大会の結果は次のとおりです。

学年別男子個人戦

【5年生】

男子 優勝 中島 悠斗
準優勝 伊東 大蔵
第3位 加藤 翔大

女子 優勝 高橋 弥桜
準優勝 八鍬 奈菜
第3位 五十嵐結奈
西塚 愛丹

【6年生】

男子 優勝 進藤 元心
準優勝 野尻 煌月
第3位 高橋 遥真

女子 優勝 伊藤 虹花
準優勝 阿部 さい
第3位 沼澤 柚月
信夫 結衣

【北の湖杯】

優勝 野尻 煌月
準優勝 進藤 元心
第3位 伊東 大蔵
中島 悠斗

【女神杯】

優勝 伊藤 虹花
準優勝 高橋 弥桜
第3位 八鍬 奈菜
阿部 さい

○9月1日に行われた舟形小学校相撲大会の結果は次のとおりです。

【4年生 トーナメント戦】

女子 優勝 佐藤愛莉沙
準優勝 沼澤 小夏
第3位 浅沼 新菜・菊地 美陽

男子 優勝 矢口 遼馬
準優勝 佐藤 琉維
第3位 斎藤 奏・野尻 紫恩

3年生以下については、東西にわかれて個人戦を行いました。



地域おこし協力隊コラム

舟形見聞録

第6話

「初めての新庄まつり」

新庄まつりの山車づくりをしてみたいと話したところ、沼澤洋一さん（一の関）が代表をつとめる馬喰町若連のみなさんが快く受け入れてくださり、約2カ月の間、製作の手伝いに携わらせていただきました。色塗りから紙貼り、しめ縄づくりまで様々な体験をしました。今回の山車はなんと、舟形町の「義経舟形伝説」が題材となっていて、義経や弁慶だけでなく猿羽根山地蔵尊や一の関の関所などが表現されています。山車の背面には縄文の女神も配置されていて、舟形町への愛が込められたとても珍しい山車となりました。何もかもが初めての経験で、山車づくりに参加するたびに刺激を受けました。親から子へと代々受け継がれているまつりなのだなということを感じ、みなさんのまつりに対する思いを強く感じました。

25日には、みなさんと山車を引きました。新庄駅前の通りが人で埋め



Instagramはこちら



尽くされ、来客の多さにたいへん驚きました。1年目から貴重な経験を積むことができました。

新庄市のコミュニティFMあすラジの「ラジオおこし協力隊」に出演中（毎週金曜 午後6時〜7時放送中）

今月の仙台弁講座

「舟形町に、またごさいん」（舟形町にまた来てね）

佐藤 浩二



舟形町を題材とした「義経舟形伝説」



馬喰町若連の山車と、沼澤洋一さん(代表)

▼問い合わせ

舟形町まちづくり課地域支援係
☎(32)0104

令和5年度に実施した

「宝くじコミュニティ助成事業」をご紹介します

舟形本町地区地域づくり協議会

（一財）自治総合センターは、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備など、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることを目的に、自治会などへの助成事業を行なっています。今年度は、一般コミュニティ助成事業で舟形本町地区地域づくり協議会が採択されました。

舟形本町地区地域づくり協議会は、地域づくりの話し合いや活動、病送りや祭りといった伝統行事とおして、コミュニケーションの機会を共有しながら、町内の活性化、運営の円滑化に関する活動を行なっています。

本事業を活用し、活動の周知のため資料やチラシなどを作成するコピー機を設置し、また経年劣化により損傷している祭りなどの道具を更新しました。

【整備用品】

カラー複合機1台、拡声器2個、折りたたみ式リヤカー1台、発電機1台、LED投光器1台、プロジェクター1台、ワイドスクリーン1台、スピーカー1台、テント1張り、除湿機1台、半長尺鯉口シャツ40着、本坪鈴5寸4個、桶型八寸提灯4個

▼問い合わせ／舟形町まちづくり課地域支援係 ☎(32)0104



新刊書の紹介

(舟形町中央公民館図書室)

いもさいばん
文/きむら ゆういち
絵/たじまゆきひこ



おじいさんが大切に育てたさつまいもが盗まれた。どろぼうはいったい誰だろう。同じ自然の中の人間と動物たち。一緒に生きるために大切なことはなんだろう。

ぼくはあと何回、満月を見るだろう
著/坂本龍一



命が尽きるその瞬間まで、新たな曲を作りた。世界的音楽家である著者の、最晩年までの足跡を未来に遺す決定的自伝。坂本龍一氏の最期の日々をつづった、鈴木正文氏による書き下ろし原稿も収録。

図書室にない本も借りることができます

お探しの本がない場合、中央公民館をとおして山形県立図書館の資料を借りることができます。詳しくは中央公民館にご相談ください。

町中央公民館図書室
蔵書数 9,464冊
(令和5年8月時点)

二十四節気 舟形の暮らし Vol.17

秋分 9月23日～10月7日
太陽が真東から上り真西に沈み、昼と夜の長さが同じになる日のこと。

秋分の日にはおはぎを食べる習慣がありますが、小豆の赤には邪気を払う効果があるとして先祖に伝えられたことがきっかけとされています。小豆には糖質や脂質の代謝を促すサポニンが多く含まれており、中性脂肪の増加を防ぎ、また血糖値の上昇を抑制する働きが期待できます。

おはぎ
●材料 (20個分)
もち米(炊飯後に蒸らす) 4合
水 650ml
小豆 3カップ
砂糖 300g
塩 少々

作り方

- ①小豆に対し5～6倍の水で煮て、沸騰後4～5分で水を足し、ゆで汁を捨てる。
- ②①に5倍ほどの水を加え、弱火であくを取りながら煮る。小豆のしわが伸びたらゆで汁を捨て、好みの硬さまで火にかけながら、砂糖を2～3回にわけ加え、最後に塩を加える。
- ③もち米を洗米後、一晩水にひたし、水を切り、分量の水で炊飯する。もち米をすりこぎで半付きし粘りを出す。好みの大きさに丸め、②の餡でくるむ。

10月の食育・地産地消デーは10月21日(土)

問い合わせ先/食育・地産地消推進委員会事務局
☎(32)0947

◆◆舟形文芸ひろば◆◆

短歌

国の賞受けるとは我知らず
教え子等花束もち来たりて卒業以来の顔合わす
木瓜の花の会 佐藤和夫(西 堀)

千風会【残暑を生きる】
今もまたあでやかな花より野花好き
四季折々のけなげな粧ひ
千風会 森 弘子(新庄市)

事故死せし母の姿を追ひ求め
国道(13号)をさまよほ子熊よ哀し
千風会 渡辺幸子(紫 山)

夕顔の白き大輪宵の島
た。だ一と夜の命満月わたる
千風会 沼澤 千鶴子(鶴陽(舟形第四))
墓がへる大きくゆつたり迫りくる
千風会 畠山広風(ひろみ)木友
メダカたち泳ぎにもぶし残暑なり
千風会 小野光風(光子(真木野))
螢火や消へゆくわびし百姓家
千風会 沼澤 千鶴子(千岳(舟形第四))

俳句

いで湯宿地酒のそへし鮎御前
木瓜の花の会 佐藤孝子(舟形第二)

向日葵のしばしうなだれ風あそぶ
長沢俳句会 大場小夜子(内 山)

熱闘の球児の汗や土捨う
長沢俳句会 佐藤昭子(長沢第二)

寺門の大樹仰げば蟬の声
長沢俳句会 柏木伸子(長沢第三)

彦星や逢たき人は遠すぎて
長沢俳句会 高橋ふき子(長沢第三)

秋夜長線路工事や話し声
真見七生(舟形第四)

青い空秋桜見つつ遊歩道
四季倶楽部 永沢幸男(光生園)

空見れば自由気ままな赤とんぼ
四季倶楽部 伊藤貴子(光生園)

窓開ける涼しい風と虫時雨
四季倶楽部 五島 健(光生園)

梨のみのたわわに実るわが宿に
四季倶楽部 岸 麻理子(光生園)

鈴虫や愛を求めて泣きどおす
四季倶楽部 奥山 早知子(光生園)

草も木も少し寝れて秋に入る
興 珠子(野)

仰ぎ見る野風呂に舞ふや赤とんぼ
井上 淳子(ローマ市)

満月に佇み虫の声を聞く
井上 笑(ローマ市)

山形銘柄米詠込み三つ物連句
つや姫にひとめぼれしてはなの舞
雪若丸歩みし軌跡偲ぶらん
北陽社 井上玲虹(野)

付合句
そよ〜と風は青葉をゆらし行く
小枝をとらへ眠る空蟬
菅喜代美(最上町)
井上玲虹(野)

舟形まんぶく物語 第17話

8月31日に、小・中学校で、きゅうり生産者の豊岡美香さん(ベジタブルNo.1)より講話をいただきました。朝早くからの収穫作業や、星型やハート型のきゅうりの作り方をお話いただき、子どもたちも興味深く聞いていました。



Instagramはコチラ



問い合わせ先/舟形町教育課学事係
☎(32)2379

この事業は、ふるさと納税を活用しています

二十歳の祝賀式を迎えました! カメラアングル

八鍬和奈さん(紫山)



- 現在の職業は? 大学生
- 自分を一言で言いつつ? 優しい性格
- 夢は? 1人でも多くの人を笑顔にできる人になりたい。
- 趣味は? 風景写真の撮影と読書
- 舟形町の良いところは? 最上小国川と山々の美しさ
- 10年後の舟形町は? 今と変わらぬ美しい景観が残っていたらいいと思います。
- 尊敬する人 家族
- 祝賀式を終えて一言 遠く離れていても応援してくれている家族や友人に感謝し、それに恥じぬように一層まい進していきます。

人口と世帯 (8/31現在)

男: 2,354人 (-2)
女: 2,445人 (-2)
計: 4,799人 (-4)
世帯: 1,834世帯 (-2)
()は前月比

選挙人名簿登録者数 (9/1現在)

男: 2,061人
女: 2,155人
計: 4,216人

10月の納期 ※10月31日(火)まで忘れずに納付しましょう。

- 固定資産税 第3期
- 町県民税 第3期
- 介護保険料 第4期

- 7月のタバコ税は2,178,048円
- 10月の舟形若あゆ温泉の休館日は11日(水)



<令和5年秋以降の新型コロナワクチン接種のお知らせ>

オミクロン株XBB.1.5対応1価ワクチンの接種(令和5年秋開始接種)を開始します

町では、集団接種会場において現在流行しているオミクロンXBB.1系統株に対応したワクチンの接種(令和5年秋開始接種)を開始します。接種により中和抗体価の上昇等が期待されることから、重症化予防効果はもとより、発症予防効果の向上が期待されると考えられています。

対象者

新型コロナワクチンの初回接種(※1)を完了し、追加接種を希望する生後6ヵ月以上の方

※1 初回接種：12歳以上および5～11歳の方は1・2回目の接種、生後6ヵ月～4歳の方は1～3回目の接種

65歳以上の方、基礎疾患を有する方には、予防接種法上の努力義務規定が適用されますが、それ以外の方は努力義務規定は適用されません。ただし、いずれの方についても接種を強制するものではありません。本人が納得した上で接種を受けるかを判断してください。

使用するワクチン

令和5年秋開始接種に使用するワクチンおよびメーカーは、次のとおりです。

年齢	12歳以上	5～11歳	生後6ヵ月～4歳
ワクチンの種類	オミクロン株対応 XBB.1系統株対応の1価ワクチン		
メーカー	ファイザー モデルナ	ファイザー(小児用) モデルナ(小児用)	ファイザー (乳幼児用)

接種期間と会場

- ▶期間 9月30日(土)～12月2日(土) 終了予定
毎週土曜日(一部木曜日あり)【受付】午後1時30分～4時
- ▶会場 舟形町福祉避難所「てとて」

申込み

- ・65歳以上 } 順次、接種券と一緒に接種日をご案内します。
- ・11歳以下 }
- ・12～64歳→『やまがたe申請』およびコロナワクチン専用ダイヤルから申込みください。

申込期間：9・10月分【9月11日～29日】 11・12月分【10月2日～27日】

問い合わせ

舟形町健康福祉課地域保健係 ☎(32)0810
新型コロナワクチン専用ダイヤル ☎0120(567)171
受付時間／午前8時30分～午後5時(土・日・祝日をのぞく)

10月の主な行事予定

- 7日 読み聞かせ講演会(中央公民館)
- 8日 町スポーツフェスティバル(町内各地)
- 21日 町総合防災訓練(長者原公民館周辺)
- 22日 めがみ学習発表会(舟形小学校)
- 28日 舟友祭(舟形中学校)

9月9・10日に行われた第40回ふながた若結まつり。令和元年の第39回から4年ぶりとなった通常開催の若結まつりは、食欲をそそる焼き結の香りに包まれて、久しぶりのにぎわいがありました。会場の準備にも行きましたが、立ち並ぶ店やテントの風景がアフターコロナを象徴しているようでした。(ゆこ)

あ
と
が
き
post
script